

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1.15.1 8.21.2 3.24.2 7.37.3 8.48	・入居者一人ひとりの気持ちの変化や、訴え自体が言語化できない、あるいは適切な言動にならない訴え(気持ちの訴えのサイン)を見逃している。 ・また、対応出来ずじまいになっている事がある。	・入居者の一人ひとりの表情の変化に常に気を配る事を仕事の第一優先事項とする。 ・入居者の視界に入るように見守りし、入居者に安心感を与える。	・個別介助、業務(備品補充や整理・清掃など)の役割と、リビングにて入居者の表情を見守る役割とをなるべく明確にし、見守り役は入居者の一挙一動の見守りをする。 ・入居者の身体能力・気持ちの変化の情報共有を行う。	12ヶ月
2	1.15.1 8.21.2 3.24.2 7.37.3 8.48	・視線の動きや仕草を見てサインを感じ取って、ある程度は対応できるようになったが、個人のスキルや経験値によって差があるので、今後の課題として取り組んでいく。	・表情の変化や不安、心配事には気付くことが出来るようにはなったが、対応については、個人のスキルや経験値によって差があるので、今後の課題として取り組んでいく。	・日常業務のマニュアルを整備し、実施することで生活支援、介護支援とレクリエーション活動等の役割を明確になるよう取り組んだ。 ・細部に渡ってマニュアルの改編を検討しつつ今後も取り組んでいく。	12ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月